

NEWS TOPICS

今年は、また、地蔵盆の行灯を作って飾りましょう！

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、例年のような行灯展示はできませんでしたが、今年は、一昨年のように、各自描いていただいた絵をお預かりして、行灯を制作し、いつもと同じ会場に展示する予定です。

▶地蔵盆の行灯の展示

日時：8月23日(火)・24日(水) 展示時間については、後日、改めてお知らせします。

会場：第1会場：六万地蔵から櫻館(桜之町西3丁の六間筋) 第2会場：来迎寺門前の駐車場(綾之町西2丁)

今年も、いつもと同じ上記の会場で行う予定です。新型コロナ感染防止に気を付け、注意しながら開催したいと思います。散歩がてら、是非お出かけ下さい。

▶行灯の絵を描きたい人募集！

大行灯 大きな絵を描きたい個人やグループを募集しています。絵は6枚分必要ですので、6団体(グループ)または個人の方で、描いてみようという方は、お申し出下さい。紙や絵の具は、こちらで用意します。

小行灯 マイ行灯(小さな行灯)の絵を自分で好きなように描きたい人を募集。行灯の紙はこちらで用意しますので絵を描いてお持ち下さい。(絵の具もご相談に応じます。)

◎どちらも先着順です。8月8日までにお申し込み下さい。完成した絵は、8月15日までにご持参いただけます。

(申込み先：堺町家案内所または、TEL072-228-0953[協議会・志賀])

行灯の木枠のリサイクルします！以前に使用された行灯の木枠をリサイクルします。今年、絵を描く、描かないに関わらず、木枠をお持ちで御不用の方は堺町家案内所までお持ちいただくか、上記、協議会・志賀まで、ご連絡下さい。よろしくお祈りします。

堺 環濠都市 NEWS

[ニュース]

北部

歴史的まちなみを
未来に活かすため

令和4年度の定期総会は
ほぼ例年通り開催できました！

vol.33

INFORMATION

▶7月の月いちバザー 8月はお休みです！
7月16日(土)/17日(日) 場所：堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F)
時間：11:00~16:00

▶9月の月いちバザー
9月17日(土)/18日(日) 場所：堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F)
時間：11:00~16:00

▶あなたなら、どうする? <町家保存活用試案> 展示
内田家住宅をモデルに、卒業制作として町家活用案を発表され、選抜作品に選ばれた、デザイン学校の学生さんの作品を展示します。内田家住宅をはじめとする、堺の町家の保存活用を一緒に考えましょう！
日時：堺町家案内所 OPEN時(基本・毎週木曜日、13:30~16:00)
期間：(9月~、詳細は後日お知らせします) 会場：内田家住宅1F ※予定は変更になることがあります。

▶協議会へのお問い合わせはこちら ▶「まちなみ修景補助制度」へのお問い合わせはこちら
堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会 堺市 建築都市局 都市計画部 都市景観室(景観グループ)
TEL 072-228-0953 [志賀] TEL 072-228-7432
MAIL info@sakaimachinami.jp FAX 072-228-8468

今号の表紙も引き続き、元禄堺大絵図の模写本の一部で、九間町を中心に大道筋(紀州街道)の西の部分が描かれています。地図の一番右側に大道筋と西六間筋がありますが、前号(32号)の表紙には地図の左側に錦之町と柳之町の大道筋と西六間筋が描かれていました。現在も、江戸時代の町割りを残す堺旧市街地ですが、戦後、戦災復興事業により、錦之町以南の大道筋と西六間筋の間の町なみが完全に撤去され、従来の大道筋と西六間筋とその間の町なみの幅を併せた、50mの広幅員道路となり、その真ん中をチンチン電車の阪堺線が通っています。つまり、道幅が広がった現在の大道筋の西の沿道は、戦前までは西六間筋の道筋だったところになります。広がった大道筋に面した、九間町の北東角にこの地域のランドマークとも言える、町家と蔵がありました。この町家と蔵は戦後、曳家工法で、ここに移動されてきました。「堺環濠都市北部地区」として規定された地域は大道筋以西では北は北半町から九間町までですが、その範囲指定に大きな影響を与えた町家と蔵でした。しかし、所有者を始め関係者の努力も虚しく、残念ながら、取り壊されて、今は駐車場となってしまいました。取り壊された後、地域の多くの人が異口同音に驚きを口にした。失った後に、より一層、その存在意義を思い知ることになりました。

今号の表紙



[元禄堺大絵図模写本][部分] (堺市博物館蔵)

前号NEWS発行から
現在までの進捗情報

第11回(令和4年度)定期総会を開催しました!!

| 2022.5.22 錦校区地域会館 1階集会室にて 午後1時30分～ |



今年も、体温測定やマスク着用など、引き続き新型コロナウイルスに対する対応がなされましたが、感染状況がやや改善されていることもあり、今年度の総会には、昨年度と異なり、堺市からも都市景観室の新室長を始め5人が参加され、新室長のご挨拶もありました。

総会では、「令和3年度活動報告及び収支決算書について」、「役員を選任及び会計監査の承認」、「令和4年度事業計画(案)及び予算(案)について」の各議案が承認されました。また、都市景観室から「まちなみ修景補助制度」についての説明と、堺環濠北部の町なみを考える会の世話人から、堺市と協働で取り組んできた「景観規制について」の最近の状況の説明がありました。

そして、休憩の後、丸順不動産株式会社・代表取締役・小山隆輝氏に、『空き家を活用するまちづくり～阿倍野区昭和町の事例から～』のタイトルでご講演いただきました(詳細は、次のページをご覧ください)。

TOPIC 1 協議会役員・会計監査・顧問・相談役

- 役員
 - 会長 志賀和子
 - 副会長 小野晃蔵 柏木 作
 - 事務局長 岸 治子
 - 事務局長補佐 辻 大樹
 - 会計 水野照子
- 会計監査 濱野紀弘 平田芳厚
- 顧問 大久保孝一 [錦校区自治連合協議会会長]
西村民浩 [錦西校区自治連合協議会会長]
- 相談役 甲野 純

TOPIC 2 令和4年度事業計画

- ①協議会ニュースの発行 ②協議会ホームページの維持管理 等
- ③町家・町なみの調査 等 ④町なみ再生に向けた勉強会 等
- ⑤イベント等による周知啓発 ⑥役員会等の会議開催

TOPIC 3 令和3年度収支決算

収入 (単位:円)				
項目	予算額	摘要	決算額	摘要
堺市補助金	500,000	堺市補助金	500,000	堺市補助金
雑収入			0	繰越金
			1	雑収入
合計	500,000		500,001	

支出 (単位:円)				
項目	予算額	摘要	決算額	摘要
調査研究活動費	460,000		390,080	
広報費	190,000	協議会ニュース発行、ホームページ維持管理等	130,000	協議会ニュース発行、ホームページ維持管理等
研究会開催	30,000	勉強会開催費、資料コピー等	54,860	講師謝礼金、講座開催費等
周知啓発費	240,000	イベント開催費、ポスター・チラシ作成等	205,220	イベント開催料、ポスター・チラシ作成等
運営事務費	40,000		109,921	
会議開催費	30,000	総会会場借上げ、資料コピー等	62,745	総会資料印刷等
事務用品購入	5,000		46,461	事務用品購入
通信・運搬費	5,000	切手代等	715	切手代等
次年度への繰越し			0	
合計	500,000		500,001	

TOPIC 4 令和4年度予算(案)

収入 (単位:円)		
項目	予算額	摘要
堺市補助金	500,000	堺市補助金
繰越金	0	
合計	500,000	

支出 (単位:円)		
項目	予算額	摘要
調査研究活動費	460,000	
広報費	250,000	協議会ニュース発行、ホームページ維持管理等
研究会開催	30,000	勉強会開催費、資料コピー等
周知啓発費	180,000	イベント開催費、ポスター・チラシ作成等
運営事務費	40,000	
会議開催費	30,000	総会会場借上げ、資料コピー等
事務用品購入	5,000	
通信・運搬費	5,000	切手代等
合計	500,000	

PICK UP 実践にもとづく、空き家の活用などのお話を伺いました!

今年は、少し趣向を変えて、実社会における実践の現場からのお話を伺いました。お話は多岐に渡り、興味のつきないものでしたが、以下に、簡単に聴講者にまとめていただきました。

講演:空き家を活用するまちづくり -阿倍野区昭和町の事例から-

[講師:丸順不動産代表取締役 小山隆輝氏]



小山さんの実践に沿ったお話は、とても面白く興味深いものでした。小山さんの活動は、とても地域に密着したもので、まず、丸順不動産と昭和町・西田辺という町の成り立ちと推移に触れなければなりません。丸順不動産は、小山さんの祖父が創業され、小山さんで三代目。地下鉄西田辺駅開業にあたり、西田辺駅近くの現在の場所に移転されました。

大正時代末から昭和初期の大大阪と言われた時代に、農村部だった昭和町や西田辺は、急増する人口に対応するために、住宅地として開発された元祖ベッドタウンと言うべき地域でした。そこに民間の資金で長屋がたくさん建てられましたが、その後、人口は少しずつ減少し、その過程で、引継ぎに失敗

した建物が、空き地や空き家となって街中に見られるようになりました。小山さんは、地域が、徐々に衰退してきているという危機感を持たれるようになり、宅建業者として何ができるのか?自問される日々が続きました。

ちょうど、そんな折、小山さんは、昭和町にある寺西長屋が、長屋としては全国で初めて国の登録有形文化財に指定されたという新聞記事に目を止められ、すぐ見に行かれました。その後、ご縁があって、寺西長屋の再生に関わったことがきっかけで、地域にある長屋などの既存建物を活用して、街を活気づけることができるのでは?と気づかれました。

そして、共に地域で育ち、地域で暮らす「Be Local パートナーズ」という10人の専門家集団の仲間と、長屋などの既存建物を活用してエリアに「よき商い」を誘致する「エリアリノベーション」と、エリアの「よき商い」を守り育てる「Buy Local 運動」を二本柱に活動されるようになりました。

「エリアリノベーション」とは、新しいエリア形成の手法で、空き家問題を個別の不動産ではなく、エリアの問題としてとらえ、エリアの価値の向上を目指すこと。小山さんの考えるエリアの価値向上とは、そこに暮らす人たちが豊かさを実感し、そのエリアにずっと住み続けたいと思うこと。そして、新しい居住者が、そのエリアを選んでくれること。そうでなければ、空き家問題の根本的な解決にはならないということです。

「Buy Local」運動とは、歩いて行ける場所においしい食事ができて、楽しいひとときを過ごすことができる店があること、自宅でお祝いをするときに食卓を彩る食材がそろった店があること、そして、そんなお店を守り育てることです。

『上質な下町』と名付けられた昭和町と堺環濠都市北部地区を同じ土俵で捉えることは出来ないけれど、活躍されている方のお話を聞くことができて、とても元気が出ました。私も、何か出来ることから初めて見ようかという気持ちになりました。



昭和町とバイローカルの紹介マップ

予告・町なみ再生シンポジウム2 歴史的景観の技術とデザイン

日時: 2022年10月9日(日) 13:00頃～ 会場: 堺市総合福祉会館 大研修室

<基調講演> 「伝統的な木造建築の耐震性を考える -構造実験の現場から-」

講師: 関西大学名誉教授 西澤 英和氏

「歴史的建造物と景観にみる文化性と再生のデザイン」

講師: 大阪産業大学准教授 中川 等氏